



ほけんだより

令和4年7月号
おおぶち そよ風こども園

梅雨に入り、雨が降る日が増えてきました。雨の合間を、カッパを着た子ども達が、園庭に出て散歩を楽しんでいます。梅雨の時期は、湿度、気温ともに高くなり、慣れない体に疲れがたまりやすく、体調を崩しやすい時期です。ご飯をしっかりと食べ、よく眠り元気に過ごしていきたいですね。

気をつけよう！夏に流行る病気

夏に気をつけたい感染症。代表的な3つについて、主な症状をあげてみました。

気になる症状が見られたら、すぐに病院へ！

ヘルパンギーナ

高熱とのどの痛み。特にのどは水疱や潰瘍ができるため、痛みを感じやすい。(乳児はミルクが飲めなくなるほど)

プール熱(咽頭結膜炎)

高熱と、のどの痛みのほか、目の痛み・かゆみ・充血など、結膜炎等のような症状が出る。

手足口病

手のひらや足の裏、口の中に小さな発疹や水疱ができ、熱が出る事もある。

とびひ

湿疹や虫刺され等を掻きこわした部位に細菌が感染します。とびひには、水ぶくれができたり、厚いかさぶたができたりします。



こんな症状がある時にはプールに入れません！

- ・朝ご飯を食べられない、前日あまり眠れなかった。
 - ・咳・鼻水・下痢や腹痛。
 - ・湿疹や傷が化膿している。
 - ・薬を飲んでいる。
 - ・ホクナリンテープ・ムヒパッチ・ばんそうこうを貼っている。
 - ・熱がある。(37.5℃以上又は、平熱より高)
 - ・目(結膜炎、目やにや充血など)・耳の病気(中耳炎、外耳炎)。
- ※水遊び・プール遊びの後は、大変体が疲れます。早く寝るようにして疲れを残さないようにしましょう。

